

【スクールバス】緊急対応訓練研修を行いました。

児童生徒の送迎のため、本校ではスクールバスを運行しています。登下校中にバスの中で、急病や発作等が起こった場合、バス乗務員が乗車中の児童生徒の安全を確保しながら、適切な緊急対応がとれるように研修をしています。今回の研修では、児童生徒に発作が起こった場合の対応訓練を行いました。養護教諭より、具合が悪くなった子の姿勢の保ち方、バスタオルを添えての頭部の支え方、発作中に嘔吐もあった場合の処置の仕方を教えてもらいました。電話で学校と連絡を取り、指示を受けながら体調の悪い児童生徒を救急車や緊急車両の職員へ引き継ぐまで適切に対応をし、同時にバスに乗っている子どもたち全員を安全に送り届けるようにします。バスの介助員同士、役割分担しながら訓練を進めました。



毎月のバス懇談会(後半はバスコースに分かれて情報共有をします。)



緊急時対応訓練の流れや発作についての説明を受けています。



発作時の姿勢の保持方法を学び、実際にやってみます。



本部(学校)に携帯電話で状況を伝え、救急車や緊急車両が到着するまで安全に待ちます。

校内では各教室に、校内安全対応マニュアルより抜粋した、「緊急時救急体制フローチャート」、「てんかん発作時の対応フロー」、「アレルギー発症時の対応表」、「不審者侵入時の対応」を常備し、内線電話での緊急コールを利用した迅速な対応、安全確保に努めています。